

芸術文化ゾーンにおいて 文化に触れ実践し創造する、子供のための木の図書館

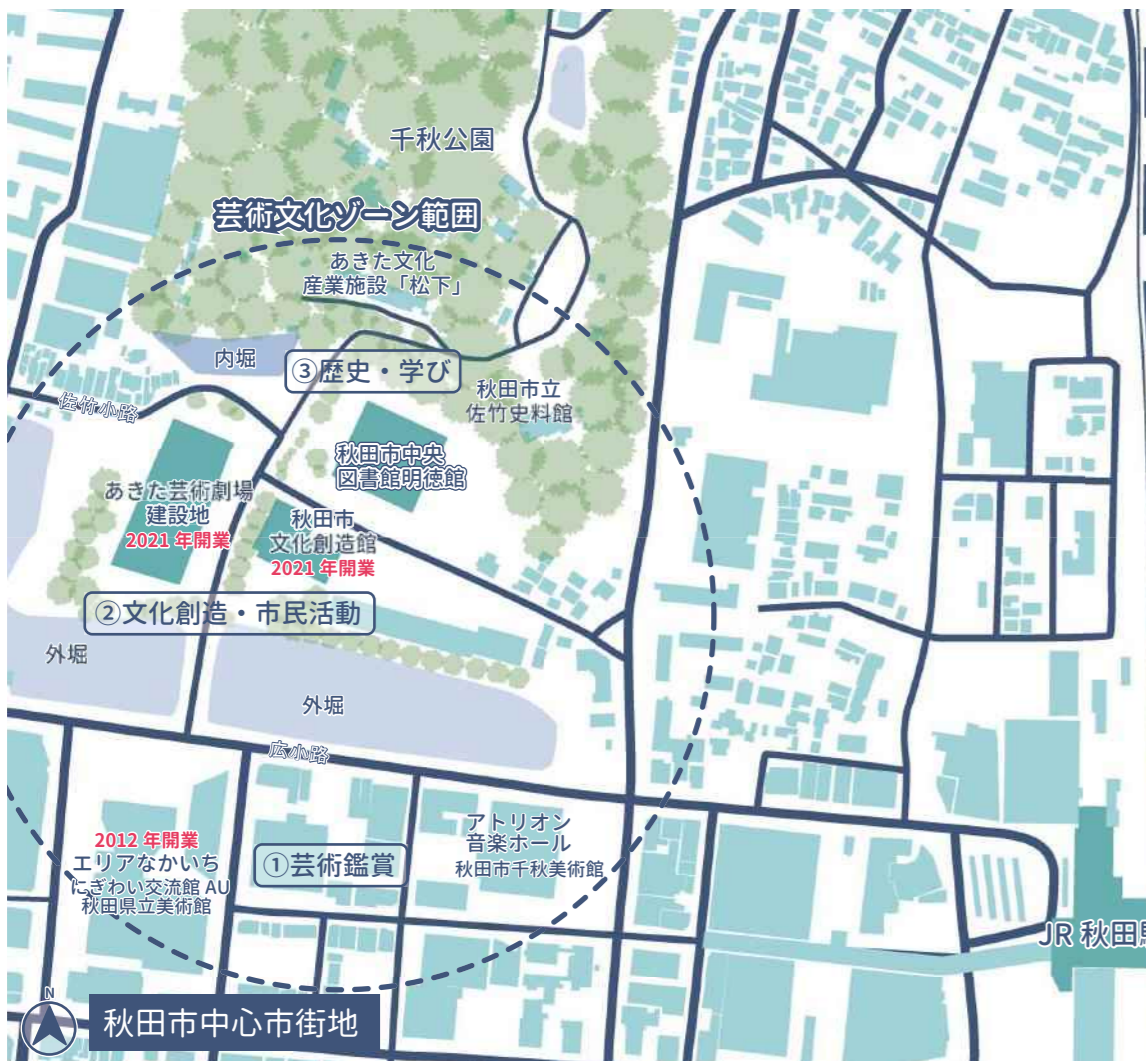
秋田市の中心市街地である千秋公園周辺エリアは、現在芸術文化ゾーンとして秋田市の「人と文化をはぐくむ誇れるまち」を形成している。

本作品は、この芸術文化ゾーンのエリア内に位置し大きなリニューアルが予定されている2つの建物と久保田城跡である千秋公園との間にある秋田市中央図書館・明徳館を敷地対象とする。芸術文化の根拠にある地域活性化や将来を見据えたまちづくりにつながる力を持ち合わせた、子供が文化に触れ、実践し、自立することで周辺地域に賑わいをもたらす新しい図書館を目指した。

これにより、子供のうちから文化活動に触れ大人になっても活発な文化創造の道をたどっていくことでまちの魅力を伝える地域資源として受け継いでいくことを期待する。

注目を集めこれから賑わいが生まれるであろう芸術文化ゾーンの空間が加わることで、市民の心に豊かさとうるおいをもたらす市民文化の向上と創出が実現できるのではないだろうか。

01 明徳館とは？～秋田市が掲げる芸術文化ゾーンについて～



新・県都「あきた」成長プラン(第13次秋田市総合計画)
 政策「文化の創造」
将来都市像 人と文化をはぐくむ誇れるまち
成長戦略 芸術文化・スポーツ・観光による都市の魅力向上
 重点プログラム「芸術・文化によるまちおこし」
 ・アーツ秋田構想「文化創造プロジェクト」
 …旧県民美術館をコンバージョンし、「秋田市文化創造館」として開館予定。
 ・文化創造館
 芸術文化ゾーンにおける文化創造の拠点の一つとして、周辺のあきた芸術劇場（令和3年に開館予定）などの他の文化施設と役割を分担し、芸術文化ゾーン全体の魅力を一層高めていく施設とされている。
 ①空間の提供：多目的スペースやクラフト市、マルシェができる屋外空間の提供。
 ②機会の提供：セミナー、ワークショップやアーティスト等によるトークイベント、シンポジウムなどの開催。
 ③創造支援事業 ④創造実験事業 ⑤地域連携 ⑥情報発信・アーカイブ
 → 周辺の既存文化施設等との連携を図り相乗効果を狙い新たな市民文化を育む、多世代が交流する賑わい拠点の形成を目指す

秋田市中心市街地活性化基本計画 **新たな文化施設に関する整備構想**
芸術文化ゾーン
 秋田市中心市街地の千秋公園からエリアなかいちまでの一帯を芸術文化ゾーンとして設定し面的に充実させ、中心市街地の魅力を高めようとしている。
 ①芸術鑑賞 ②文化創造・市民活動 ③歴史・学び の動線を意識し、役割を分担している。

秋田市立中央図書館明徳館
 本教地の秋田市立中央図書館明徳館は文化創造館の隣に位置し、久保田藩の藩校「明徳館」にちなんだ名称の秋田市民によく馴染みのある図書館である。谷口吉生氏設計であり、直線的でシンメトリーという特徴を持つ。広いこどもコーナーや、移動図書館の展開、学生の勉強場所の利用など教育に積極的な活動をしている。

02 文化活動と共に成長するプログラム

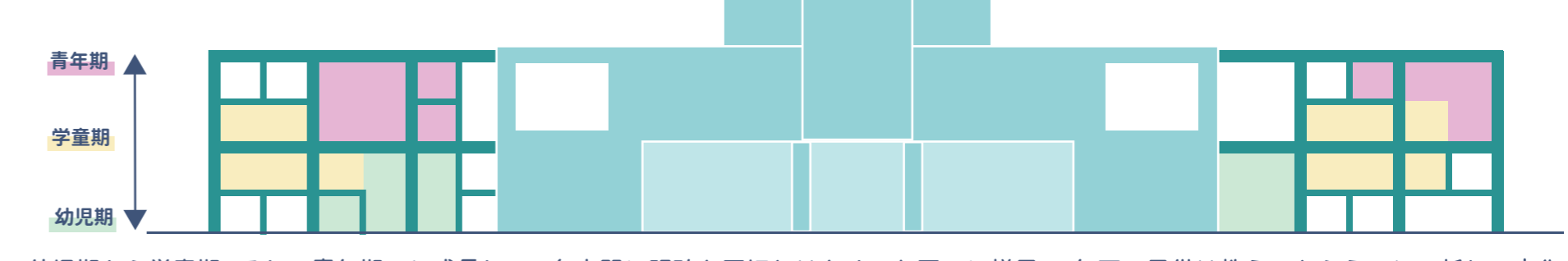
子供が幼いうちから段階的に文化と関わりを持ち、創出できる環境を築く。彼らは成長の過程に芸術や文化があることで、年齢に応じた能力を身に付けながら文化を発信する立場になる準備が整えられる。



「触れる」幼児期(2～5歳)
 2～4歳のうちに自律性が生まれ、さらに4～5歳にはいろいろなものに興味を示す積極性が生まれる幼児期に、体験教室や年上の子供の活動を認識することで様々な文化や活動に触れる。

「実践する」学童期(5～12歳)
 気まぐれや遊びから完遂するという目的に変わり、自身の才能が認められる機会となる学童期に、創作活動という機会を提供することで創作活動に楽しみや喜びを感じる。様々な文化を実践し自分だけの特別な才能を認識し始め、自身の興味を追求するようになる。

「自立する」青年期(12～18歳)
 成人期へ近づき自立に向けてアイデンティティの探求や創出を求められるようになる青年期には、さらに興味を追求し自己を確立することで、自分を受け入れられるようになる。年下の子供たちに教えることができる立場になる。

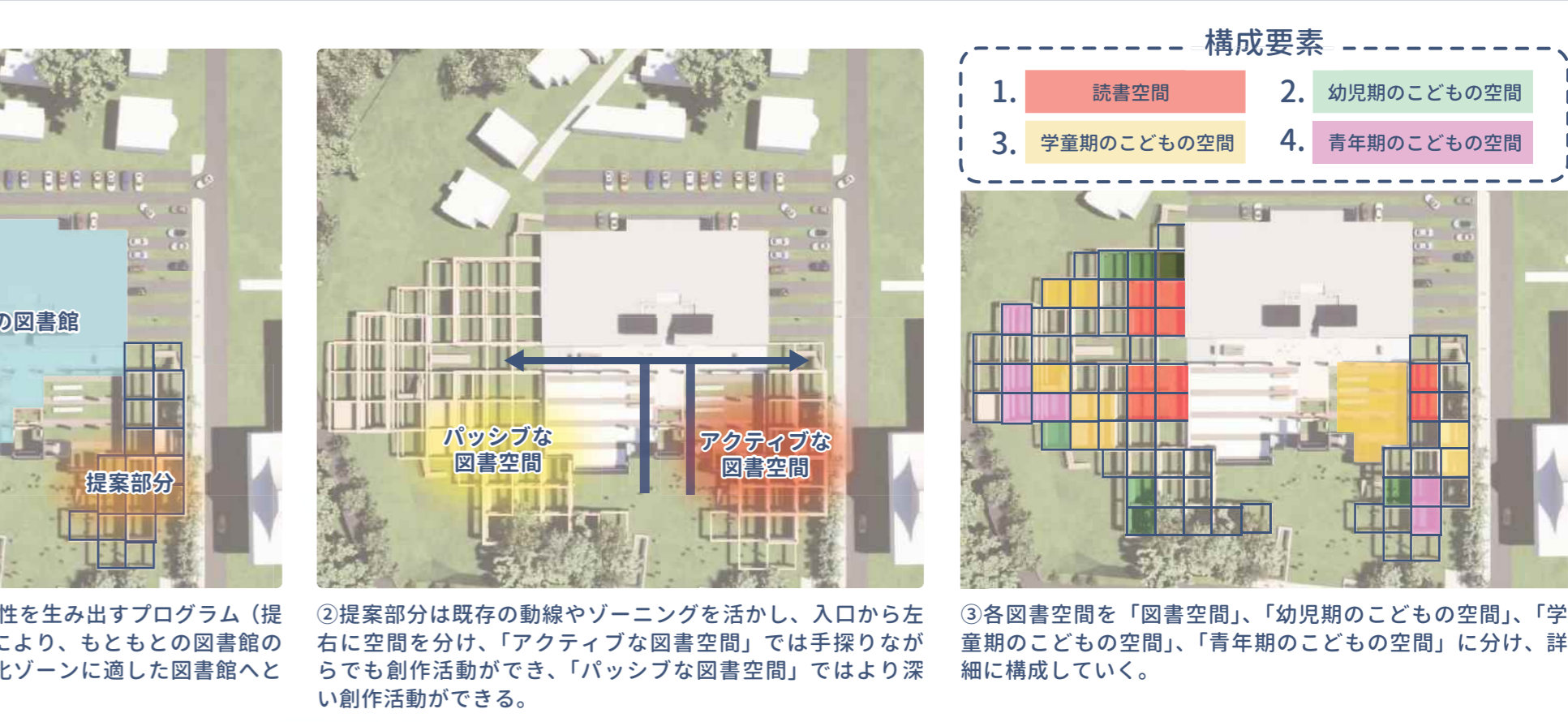
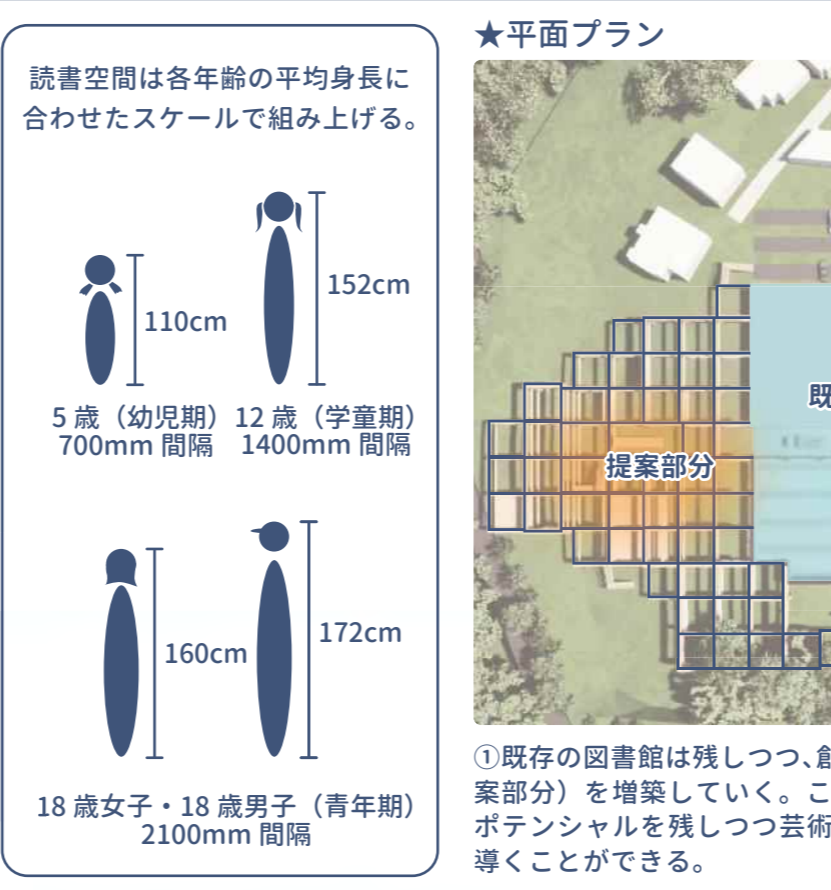
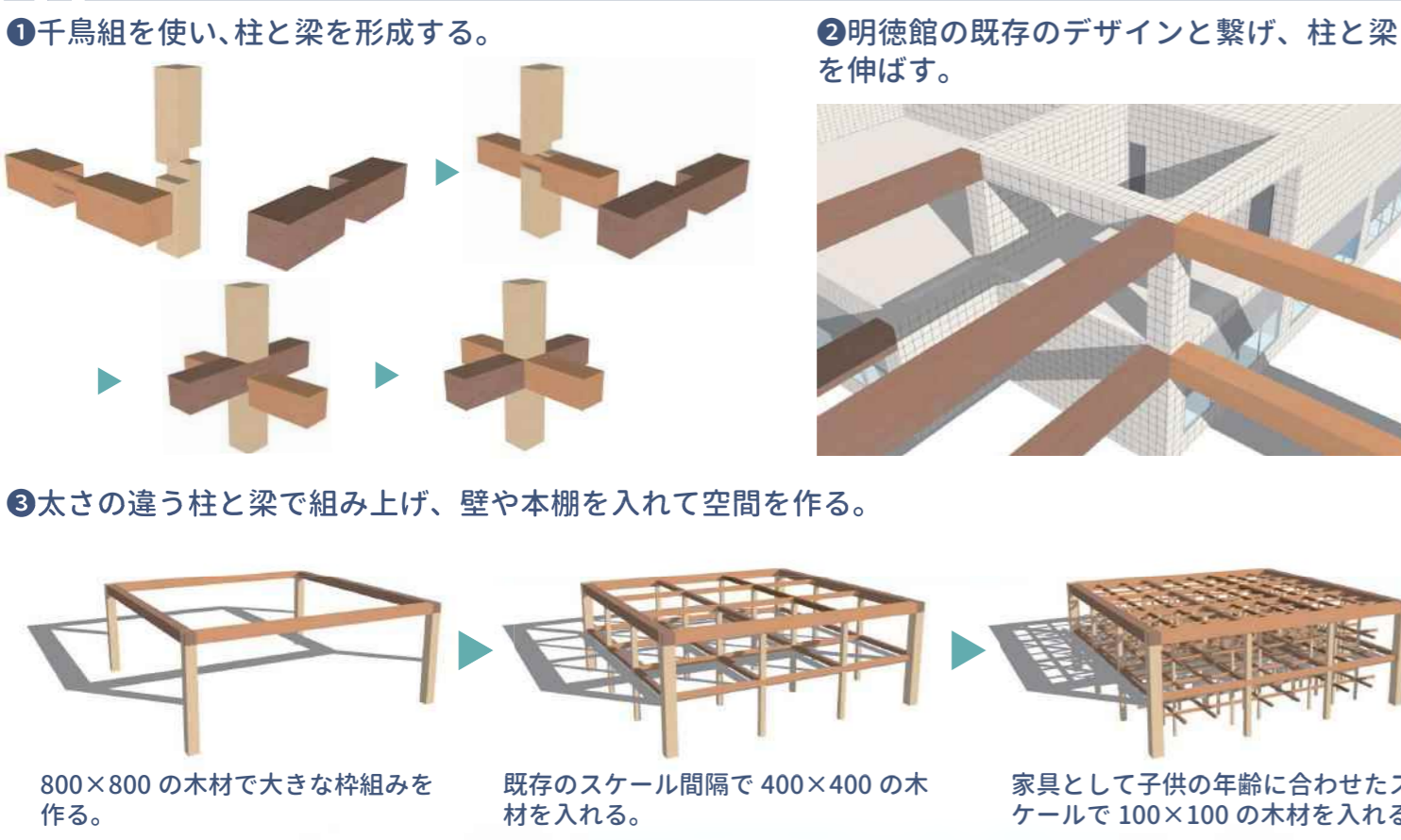


幼児期から学童期、そして青年期へと成長し、文化活動のレベルがステップアップするにつれて、各年代のための空間を断面的に配置する。

各空間に明確な区切りはなく、お互いに様子を窺ったり、少し活動に交じって教えたり教えられたりするなど、少しずつ関わりあう空間となっている。

年下の子供は教えてもらうことで新しい文化を享受し、年上の子供は教えることで自身の理解を深めるなどどちらにとっても成長の機会となる。

03 既存のランドスケープと繋がる形態操作



04 アクソメ図

